

課題番号	共09-001
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 7 日

日本大学 総長 殿

氏 名 野々村 新



所属・資格 法学部 教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。																																
2 研究課題	大学におけるキャリア教育のための初年次教育・導入教育の内容と方法に関する研究																																	
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 野々村 新 研究分担者 (役割分担) <ul style="list-style-type: none"> 西村 克彦 (英語教育の視点から、資料の収集と考察を行う) 安藤 忠 (教育史の視点から、資料の収集と考察を行う) 和田 万紀 (社会心理学の視点から、データの収集、解析と考察を行う) 																																	
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																												
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																															
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>和田 万紀 安藤 忠 西村 克彦 野々村 新</td> <td>桜文論叢/大学におけるキャリア教育のための初年次教育・導入教育の内容と方法に関する研究—自我同一性達成地位と性差が大学への適応に与える影響—</td> <td>78巻</td> <td>平成22年11月</td> <td>日本大学 法学部</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>			著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	和田 万紀 安藤 忠 西村 克彦 野々村 新	桜文論叢/大学におけるキャリア教育のための初年次教育・導入教育の内容と方法に関する研究—自我同一性達成地位と性差が大学への適応に与える影響—	78巻	平成22年11月	日本大学 法学部																					
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																														
和田 万紀 安藤 忠 西村 克彦 野々村 新	桜文論叢/大学におけるキャリア教育のための初年次教育・導入教育の内容と方法に関する研究—自我同一性達成地位と性差が大学への適応に与える影響—	78巻	平成22年11月	日本大学 法学部																														

※ホームページ等での公開の (☑)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	共09-002
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成23年 3月 29日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 鳥 山 正 晴

所属・資格 芸術学部映画学科・教授

下記のとおり提出いたします。

1	種 目	<input type="checkbox"/> 一般研究(個人研究) / <input checked="" type="checkbox"/> 一般研究(共同研究) / <input type="checkbox"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。	
2	研究課題	「映画関係者を対象とした談話収録による証言を基にした映画史資料の収集」		
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）			
	・研究代表者	鳥山 正晴 映画演出（史）		
	・研究分担者（役割分担）			
	高野 徹	映画技術（史）	田島 良一 日本映画史	
	広沢 文則	映画技術（史）	松島 哲也 映画演出（史）	
	宮崎 正弘	映像作品（史）	宮沢 誠一 映画演出（史）	
	山田 顕喜	映画技術（史）	齊藤 裕人 映画演出（史）	
	上倉 泉	映画技術（史）	増田 治宏 映画技術（史）	
4	学会発表等	（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）		
	発表者名	学会名	発表テーマ	
5	著書・雑誌論文	（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）		
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月
	鳥山正晴 他研究分担者	個人別領域別談話収録による映画史体系	21	平成22年 3月10日
	(高野徹、広沢文則、宮崎正弘、山田顕喜、上倉泉、田島良一、松島哲也、宮沢誠一、齊藤裕人、増田治宏)			日本大学芸術学部 映画学科

※ホームページ等での公開の (可) / (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

※ホームページ等での公開の(可・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

[成果物8-2]

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
鞍掛純一	CD	NHK新潟	1
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
<p>(知的財産権の取得)</p> <p>(外部資金の獲得)</p> <p>大地の芸術祭 アーティストフィー</p> <p>(他の研究への発展)</p> <p>NAP 日藝アートプロジェクト</p> <p>(その他) 雑誌掲載・TV関係</p> <p>「chou chou」2009年6月25日号</p> <p>「建築ノート」no.7</p> <p>「日経アーキテクチャー」2009年7月27日</p> <p>「美術手帳」2009年8月増刊</p> <p>TBS「知っと子」2009年7月4日</p> <p>NHK新潟「新潟ニュース610」2009年7月27日</p>			

【別紙様式 8】

課題番号	共 09-005
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成23年4月6日

日本大学 総長 殿

氏名 新宮清志



所属・資格 理工学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / <input checked="" type="radio"/> 一般研究(共同研究) / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。																																									
2 研究課題	避難施設としても使用される大空間構造物の減衰特性の究明																																										
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 新宮清志 (研究総括、常時微動観測とその減衰評価) 研究分担者 (役割分担) 川島孝幸 (人力加振実験とその減衰評価) 近藤典夫 (衝撃加振実験とその減衰評価・既往の減衰データ収集) 																																										
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新宮清志・川島孝幸・近藤典夫他4名</td> <td>MOVIC2010</td> <td>Damping Characteristics of a Prestressed Concrete Cylindrical Shell in Chiba, Japan</td> <td>2010年(平成22年)8月</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	新宮清志・川島孝幸・近藤典夫他4名	MOVIC2010	Damping Characteristics of a Prestressed Concrete Cylindrical Shell in Chiba, Japan	2010年(平成22年)8月																																	
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																								
新宮清志・川島孝幸・近藤典夫他4名	MOVIC2010	Damping Characteristics of a Prestressed Concrete Cylindrical Shell in Chiba, Japan	2010年(平成22年)8月																																								
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>			著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																							

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	共 09-006
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 16 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 景 山 一 郎
 所属・資格 生産工学部機械工学科・教授



下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <input type="checkbox"/> 一般研究(個人研究) / <input checked="" type="checkbox"/> 一般研究(共同研究) / <input type="checkbox"/> 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。			
2	研究課題 高齢者の視覚特性から見た自立支援に関する研究				
3	研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します) ・研究代表者 教授 景山一郎 (研究全般のとりまとめを実施) ・研究分担者 (役割分担) 教授 堀江良典 (高齢者の特性評価を人間工学的な見地より実施する) 専任講師 栗谷川幸代 (ナイトビジョン評価実験および視覚特性計測と評価を中心に実施する)				
4	学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
	発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
	丹野祥孝、栗谷川幸代、景山一郎	自動車技術会関東支部講演会	高齢運転者の視覚機能計測に関する基礎的研究	2010年3月	
	鴨川亮平、栗谷川幸代、景山一郎	自動車技術会関東支部講演会	高齢者のための夜間支援システムの評価に関する研究	2010年3月	
	景山一郎	(日本学術会議主催)安全工学シンポジウム	ドライバ運転特性から見た課題	2010年7月	
	大島彰将、堀江良典	第43回日本大学生産工学部学術講演会	椅子の立ち座り動作における肘掛の効用について	2010年12月	
	木幡圭祐、栗谷川幸代、景山一郎	自動車技術会関東支部講演会	ヒューマンマシンインターフェース評価に関する研究	2011年3月	
	中野政宏、栗谷川幸代、景山一郎	自動車技術会関東支部講演会	視覚機能の低下が運転能力に及ぼす研究	2011年3月	
5	著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
	著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
<p>(知的財産権の取得) なし</p> <p>(外部資金の獲得) なし</p> <p>(他の研究への発展) 本研究を通じて、新たに高齢者の視覚能力と情報処理の関係を明確にする必要性が明らかとなった。そこで、現在、高齢者の視覚機能に関する研究を開始した。</p> <p>(その他) 特になし</p>			

課題番号	共09-007
------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成21年度 学術研究助成金成果物報告書

平成23年4月25日

日本大学 総長 殿

氏名 池田 正 則



所属・資格 工学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / <input checked="" type="radio"/> 一般研究(共同研究) / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。																									
2 研究課題	共役系高分子有機半導体の機能発現と ZrO ₂ , Ta ₂ O ₅ , SiO ₂ 電極界面構造の役割に関する研究																										
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 池田正則 研究分担者 (役割分担) 清水博文 (ZrO₂, Ta₂O₅, SiO₂ 表面薄膜の作製, 電気的特性評価) 鈴鹿 敢 (共役高分子薄膜形成と電子状態の観測) 																										
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>池田正則, 末永勝也, 清水博文, 鈴鹿敢</td> <td>平成22年度電気関係学会 東北支部連合大会</td> <td>PMMA および PVCz 薄膜の電気的特性 の研究</td> <td>平成22年8月26日</td> </tr> <tr> <td>池田正則, 末永勝也, 清水博文, 鈴鹿敢 吉沢友和</td> <td>第53回日本大学工学部 学術研究報告会</td> <td>Au/PMMA 薄膜/Ta 構造の電気的特性 の研究</td> <td>平成22年12月4日</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	池田正則, 末永勝也, 清水博文, 鈴鹿敢	平成22年度電気関係学会 東北支部連合大会	PMMA および PVCz 薄膜の電気的特性 の研究	平成22年8月26日	池田正則, 末永勝也, 清水博文, 鈴鹿敢 吉沢友和	第53回日本大学工学部 学術研究報告会	Au/PMMA 薄膜/Ta 構造の電気的特性 の研究	平成22年12月4日													
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																								
池田正則, 末永勝也, 清水博文, 鈴鹿敢	平成22年度電気関係学会 東北支部連合大会	PMMA および PVCz 薄膜の電気的特性 の研究	平成22年8月26日																								
池田正則, 末永勝也, 清水博文, 鈴鹿敢 吉沢友和	第53回日本大学工学部 学術研究報告会	Au/PMMA 薄膜/Ta 構造の電気的特性 の研究	平成22年12月4日																								
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>池田正則, 末永勝也, 清水博文, 鈴鹿敢, 吉沢友和</td> <td>Au/PMMA/Ta 構造の電流-電圧特性と電気 伝導・日本大学工学部紀要</td> <td>第52巻 第2号</td> <td>平成23年 3月</td> <td>日本大学工学部</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	池田正則, 末永勝也, 清水博文, 鈴鹿敢, 吉沢友和	Au/PMMA/Ta 構造の電流-電圧特性と電気 伝導・日本大学工学部紀要	第52巻 第2号	平成23年 3月	日本大学工学部															
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																							
池田正則, 末永勝也, 清水博文, 鈴鹿敢, 吉沢友和	Au/PMMA/Ta 構造の電流-電圧特性と電気 伝導・日本大学工学部紀要	第52巻 第2号	平成23年 3月	日本大学工学部																							

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は, 理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	共 09-009
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 1 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 上野 高浩



所属・資格 医学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1	種 目	一般研究(個人研究) / <input checked="" type="radio"/> 一般研究(共同研究) / 総合研究	注: 該当する種目を○で囲んでください。																																								
2	研究課題	メタボリックシンドロームの代謝異常に中心的な役割を担う遺伝子の探索																																									
3	研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 上野 高浩 ・研究分担者 (役割分担) 松本 太郎 (Gene Chip) 相馬 正義 (SNPs 解析) 																																									
4	学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">発表者名</th> <th style="width: 25%;">学会名</th> <th style="width: 40%;">発表テーマ</th> <th style="width: 10%;">発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Takahiro Ueno, Taro Matsumoto, Masayoshi Soma, et al.</td> <td>6th International Congress of Pathophysiology</td> <td>DYSLIPIDEMIA AND ALTERED HEPATIC GENE EXPRESSION IN A NEW RAT METABOLIC SYNDROME MODEL (SHRSP. ZLepr^{fa} IsmDprc)</td> <td>2010年9月</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	Takahiro Ueno, Taro Matsumoto, Masayoshi Soma, et al.	6 th International Congress of Pathophysiology	DYSLIPIDEMIA AND ALTERED HEPATIC GENE EXPRESSION IN A NEW RAT METABOLIC SYNDROME MODEL (SHRSP. ZLepr ^{fa} IsmDprc)	2010年9月																																
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																								
Takahiro Ueno, Taro Matsumoto, Masayoshi Soma, et al.	6 th International Congress of Pathophysiology	DYSLIPIDEMIA AND ALTERED HEPATIC GENE EXPRESSION IN A NEW RAT METABOLIC SYNDROME MODEL (SHRSP. ZLepr ^{fa} IsmDprc)	2010年9月																																								
5	著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">著者・執筆者</th> <th style="width: 30%;">著書名・雑誌名／論文名</th> <th style="width: 10%;">巻・号</th> <th style="width: 10%;">年月</th> <th style="width: 25%;">出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																							

※ホームページ等での公開の 可 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
本研究により抽出されたメタボリックシンドロームに関連する可能性のある遺伝子に関して、現在その肥満脂肪組織、脂肪肝における役割の検討を行っている。			
(その他)			


課題番号	共 09-010
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 1 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 松 川 睦 
 所属・資格 医 学 部 ・ 助 手

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	一般研究(個人研究) / <u>一般研究(共同研究)</u> / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
-------	---------------------------------------	---------------------

2 研究課題	嗅覚情報処理過程における自然刺激と電気刺激との比較検討
--------	-----------------------------

3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 松 川 睦 ・研究分担者 (役割分担) <ul style="list-style-type: none"> 相 澤 信 (研究の解析) 今 田 正 人 (組織標本の作成と解析) 勝 山 成 美 (電気生理学実験の遂行と解析)
---------------------------	---

4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)			
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
松川 睦, 相澤 信, 今田 正人, 勝山 成美, 他 1 名	Neuro2010 (第 33 回日本神経科学大会)	マウス嗅球の電気刺激による分界条床核内側部における活動神経細胞数の相違	2010 年 9 月

5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の (可) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は, 理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

課題番号	共 09-011
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 24 年 3 月 1 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 齋藤 明義



所属・資格 医学部・客員教授

下記のとおり提出いたします。

(教授)

1	種 目	一般研究(個人研究) / <u>一般研究(共同研究)</u> / 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題	光線力学療法 (PDT) を用いた多剤耐性菌感染に対する新規治療法の開発	
3	研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 齋藤 明義 ・研究分担者 (役割分担) <ul style="list-style-type: none"> 相澤 信 (PDT の組織、細胞に対する影響) 原田 智紀 (PDT の殺菌作用の検討) 	
4	学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)		
	発表者名	学会名	発表テーマ
	齋藤明義、後藤文聖、永井悠、徳橋泰明、原田智紀、相澤信	第 506 回日本大学医学会例会	光線力学療法 (PDT) を用いた多剤耐性菌感染に対する新規治療法の開発
			発表年月
			平成 23 年 9 月 10 日
5	著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)		
	著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号
			年月
			出版社・発行所

※ホームページ等での公開の (☑・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
<p>(知的財産権の取得)</p>			
<p>(外部資金の獲得)</p>			
<p>(他の研究への発展)</p> <p>本研究に関しては、本学歯学部、松戸歯学部、筑波大学応用理工学類、早稲田大学教育・総合科学学術院等と「クロロフィル拡大会議」を定期的で開催し、フェオフォーバイドを用いた PDT の基礎的検討および臨床応用に関する研究展開を進めている。現在ウイルスに対する抗菌効果、歯周病への臨床応用の検討を継続研究中である。</p>			
<p>(その他)</p> <p>フェオフォーバイドを用いて、口臭病用として「クロロス・ブリースケア」の開発に参画し、商品化に至っている。</p>			

課題番号	共 09-012
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 1 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 羅 智 靖



所属・資格 医学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input type="checkbox"/> 一般研究(個人研究) <input checked="" type="checkbox"/> 一般研究(共同研究) <input type="checkbox"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
------	--	---------------------

2 研究課題	FcεRI β 鎖 ITAM によるマスト細胞活性化の fine-tuning の分子機構
--------	---

3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 羅 智 靖 ・研究分担者 (役割分担) 権 寧 博 (シグナル伝達機構の解析) 岡山吉道 (シグナル伝達機構の解析) 鈴木良弘 (細胞内 ROS 産生機構の解析) 下川敏文 (転写因子の解析) 布村 聡 (シグナル伝達機構の解析) 照井 正 (接触性皮膚炎モデルの解析)
---------------------------	--

4 学会発表等	(要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)
---------	--

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
Chisei Ra, Satoshi Nunomura, Yoshihiro Suzuki, Yoshimichi Okayama	第 59 回日本アレルギー学会秋季学術大会	Regulation of mast cell activation by FcεRIβ chain	2009 年 10 月
下川敏文, 羅智靖	第 59 回日本アレルギー学会秋季学術大会	C/EBPα 及び Sp1 との相互作用に関する GABP 変異体による FcR サブユニット遺伝子発現制御の解析	2009 年 10 月
Nunomura Satoshi, Gon Yasuhiro, Terui Tadashi, Ra Chisei, et al.	第 39 回日本免疫学会総会・学術集会	FcεRI を介したマスト細胞活性化の阻害は、Oxazolone に対する接触過敏反応を抑制する/Abrogation of high-affinity IgE receptor-mediated mast cell activation prevents contact hypersensitivity to oxazolone	2009 年 12 月

5 著書・雑誌論文	(著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)
-----------	---

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
2010～2012 文部科学省科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 研究課題名: 「FcεRI β 鎖によるマスト細胞活性化機構の解明とその制御」			
2010 奨学等寄付金 ノバルティスファーマ (株) 研究課題名: 「アレルギー疾患における分子機構に係る研究」			
2010 受託研究費 武田薬品工業 (株) 研究課題名: 「ヒト肥満細胞の単離および同細胞における MrgX2 遺伝子発現と神経性ペプチドに対する反応性の確認」			
(他の研究への発展)			
(その他)			


課題番号	共 09-013
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 5 月 6 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 牧本 優美 

所属・資格 医学部・助 教

下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / <u>一般研究(共同研究)</u> / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	早産児における出生時内因性脂肪産生と新生児期体組成および栄養脂質に関する研究																																											
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 牧本優美 ・研究分担者 (役割分担) <ul style="list-style-type: none"> 山本樹生 (研究のクリティサイズ) 岡田知雄 (データ解析、参考資料の提供) 麦島秀雄 (最終結果、考案に対する検討) 																																											
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">発表者名</th> <th style="width: 25%;">学会名</th> <th style="width: 40%;">発表テーマ</th> <th style="width: 10%;">発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吉川 香代, 岡田 知雄, 牧本 優美, 麦島 秀雄, 他 4 名</td> <td>第 24 回日本小児脂質研究会</td> <td>新生児期体脂肪 catch-up におけるリポ蛋白リパーゼ LPL の意義</td> <td>2010 年 11 月</td> </tr> <tr> <td>Ryuta Yonezawa, Tomoo Okada, Masami Makimoto, Hideo Mugishima, Tatsuo Yamamoto, et al.</td> <td>PEDIATRIC ACADEMIC SOCIETIES and ASIAN SOCIETY FOR PEDIATRIC RESEARCH 2011 Joint Meeting</td> <td>Early Postnatal Changes of Lipoprotein Subclass Profile in Late Preterm Infants</td> <td>2011 年 5 月</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	吉川 香代, 岡田 知雄, 牧本 優美, 麦島 秀雄, 他 4 名	第 24 回日本小児脂質研究会	新生児期体脂肪 catch-up におけるリポ蛋白リパーゼ LPL の意義	2010 年 11 月	Ryuta Yonezawa, Tomoo Okada, Masami Makimoto, Hideo Mugishima, Tatsuo Yamamoto, et al.	PEDIATRIC ACADEMIC SOCIETIES and ASIAN SOCIETY FOR PEDIATRIC RESEARCH 2011 Joint Meeting	Early Postnatal Changes of Lipoprotein Subclass Profile in Late Preterm Infants	2011 年 5 月																												
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																									
吉川 香代, 岡田 知雄, 牧本 優美, 麦島 秀雄, 他 4 名	第 24 回日本小児脂質研究会	新生児期体脂肪 catch-up におけるリポ蛋白リパーゼ LPL の意義	2010 年 11 月																																									
Ryuta Yonezawa, Tomoo Okada, Masami Makimoto, Hideo Mugishima, Tatsuo Yamamoto, et al.	PEDIATRIC ACADEMIC SOCIETIES and ASIAN SOCIETY FOR PEDIATRIC RESEARCH 2011 Joint Meeting	Early Postnatal Changes of Lipoprotein Subclass Profile in Late Preterm Infants	2011 年 5 月																																									
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">著者・執筆者</th> <th style="width: 30%;">著書名・雑誌名／論文名</th> <th style="width: 10%;">巻・号</th> <th style="width: 10%;">年月</th> <th style="width: 25%;">出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																								

※ホームページ等での公開の (可・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
無し			
(外部資金の獲得)			
無し			
(他の研究への発展)			
有り・低出生体重新生児の脂質栄養研究へ展開する。			
(その他)			
無し			

課題番号	共 09-014
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 2 1 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 22 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 関 泰一郎
 所属・資格 生物資源科学部・教授



下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / <input checked="" type="radio"/> 一般研究(共同研究) / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。																														
2 研究課題	線溶酵素の局在を起点としたニッチ制御と肝再生機構の解析																															
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 関 泰一郎 動物モデルを用いた解析、細胞生物学的解析 ・研究分担者 (役割分担) <ul style="list-style-type: none"> 有賀 豊彦 受容体の単離、分子間相互作用の解析 司馬 肇 受容体のクローニング、アポトーシスの解析 荻原 淳 LC-MS/MS 解析 																															
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">発表者名</th> <th style="width: 20%;">学会名</th> <th style="width: 40%;">発表テーマ</th> <th style="width: 20%;">発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N. Okumura, K. Hillmayer, A. Gils, P.J. Declerck, JCM. Meijers, T. Seki, T. Ariga.</td> <td>The 20th International Congress on Fibrinolysis and Proteolysis (ISFP2010)</td> <td>TAFI regulates hepatocyte survival during liver regeneration with a manner independent from cell-associated plasminogen.</td> <td>2010 年 8 月 26 日</td> </tr> <tr> <td>有馬真由子、仲宗根綾乃、奥村暢章、荻原 淳、関 泰一郎、有賀 豊彦</td> <td>日本農芸化学会 2010 年度大会 (東京)</td> <td>肝細胞に発現する plasminogen receptor の探索と同定</td> <td>2010 年 3 月 28 日</td> </tr> <tr> <td>H. Shiba, T. Yabu, R. Kawabe, N. Mano, T. Nakanishi</td> <td>Experimental Biology</td> <td>Involvement of macroautophagy and chaperone-mediated autophagy in the irreversible process of posterior silk gland histolysis during metamorphosis of <i>Bombyx mori</i>.</td> <td>2011 年 4 月 12 日</td> </tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	N. Okumura, K. Hillmayer, A. Gils, P.J. Declerck, JCM. Meijers, T. Seki, T. Ariga.	The 20th International Congress on Fibrinolysis and Proteolysis (ISFP2010)	TAFI regulates hepatocyte survival during liver regeneration with a manner independent from cell-associated plasminogen.	2010 年 8 月 26 日	有馬真由子、仲宗根綾乃、奥村暢章、荻原 淳、関 泰一郎、有賀 豊彦	日本農芸化学会 2010 年度大会 (東京)	肝細胞に発現する plasminogen receptor の探索と同定	2010 年 3 月 28 日	H. Shiba, T. Yabu, R. Kawabe, N. Mano, T. Nakanishi	Experimental Biology	Involvement of macroautophagy and chaperone-mediated autophagy in the irreversible process of posterior silk gland histolysis during metamorphosis of <i>Bombyx mori</i> .	2011 年 4 月 12 日														
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																													
N. Okumura, K. Hillmayer, A. Gils, P.J. Declerck, JCM. Meijers, T. Seki, T. Ariga.	The 20th International Congress on Fibrinolysis and Proteolysis (ISFP2010)	TAFI regulates hepatocyte survival during liver regeneration with a manner independent from cell-associated plasminogen.	2010 年 8 月 26 日																													
有馬真由子、仲宗根綾乃、奥村暢章、荻原 淳、関 泰一郎、有賀 豊彦	日本農芸化学会 2010 年度大会 (東京)	肝細胞に発現する plasminogen receptor の探索と同定	2010 年 3 月 28 日																													
H. Shiba, T. Yabu, R. Kawabe, N. Mano, T. Nakanishi	Experimental Biology	Involvement of macroautophagy and chaperone-mediated autophagy in the irreversible process of posterior silk gland histolysis during metamorphosis of <i>Bombyx mori</i> .	2011 年 4 月 12 日																													
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">著者・執筆者</th> <th style="width: 20%;">著書名・雑誌名 / 論文名</th> <th style="width: 10%;">巻・号</th> <th style="width: 10%;">年月</th> <th style="width: 20%;">出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		著者・執筆者	著書名・雑誌名 / 論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																									
著者・執筆者	著書名・雑誌名 / 論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																												

※ホームページ等での公開の (可) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			
The 20th International Congress on Fibrinolysis and Proteolysis (ISFP2010) で発表した論文は、D. Collen Young Investigator Awards を受賞した。			

* 課題番号	高共 09-002
--------	-----------

注：課題番号を記入してください。

平成 21 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 5 月 9 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 佐 藤 睦 浩

所属・資格 東北高校・教諭



下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / <u>一般研究(共同研究)</u> / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。																														
2 研究課題	高校理数教育における, ICT 等を用いた能動的な授業実践及び教育実践に関する研究																															
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 佐 藤 睦 浩 ・研究分担者 (役割分担) <ul style="list-style-type: none"> 兵 藤 淳 一 (数学分野の企画及び授業の実践) 能 勢 い ず み (授業の実践) 和 泉 賢 一 (授業の実践) 																															
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">発表者名</th> <th style="width: 25%;">学会名</th> <th style="width: 40%;">発表テーマ</th> <th style="width: 10%;">発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>佐藤睦浩</td> <td>日大工学部学術研究 報告会</td> <td>高校理数教育における, ICT 等を用いた能動的な授業実践及び教育実践に関する研究</td> <td>平成 22 年 12 月</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	佐藤睦浩	日大工学部学術研究 報告会	高校理数教育における, ICT 等を用いた能動的な授業実践及び教育実践に関する研究	平成 22 年 12 月																						
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																													
佐藤睦浩	日大工学部学術研究 報告会	高校理数教育における, ICT 等を用いた能動的な授業実践及び教育実践に関する研究	平成 22 年 12 月																													
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">著者・執筆者</th> <th style="width: 30%;">著書名・雑誌名/論文名</th> <th style="width: 10%;">巻・号</th> <th style="width: 10%;">年月</th> <th style="width: 25%;">出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																									
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																												

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は, 理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			